科目区分	教養科目	授業科目名		心理学		科目コード	25L007	担当者	小槻 智彩				担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 地域未 来創生コース	配当年次	2年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択 の別	選択	免許・資格要件	社会福祉主事任用	資格		
授業形態	講義	履修条件								教育職員免許法	科目区分			
実務の経験	を有する教員担当科目	該当		実務の経験内容及び 科目との関連 公認心理師・臨床発達心理士として自治体の母子保健事業や大学附属心理教育相談室における 相談業務に従事した経験に基づき、心理学について授業を行う。					対育相談室における	施行規則に 定める 科目区分等	科目に含める ことが必要な 事項			

授業の主題	人間の心の基本的な仕組みと働きについて学び、自己理解と他者理解を深める。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	授業前課題とミニッツペーパーに記入された内容や質問を授業内で紹介し、コメントや回答を行う。
授業の方法	パワーポイントスライドを使用した講義形式を基本とする。 受講生には教員が作成した授業資料を配布する。 受講生は授業前課題を行い、毎回の授業の最後にはミニッツペーパーを提出する。	アクティフ・ブーニングの	授業内容の理解を深めるために、受講生は授業前課題として心理に関わる自分自身の経験をまとめる。 授業内容の振返りを行うために、受講生は毎回の授業の最後にミニッツペーパーを提出する。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	心理学とは:目に見えない心の科学	事前:人間の心に関わる自分自身の経験についてまとめる。 事後:人間の心に関わる経験について、授業で 学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第2回	感覚と知覚	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第3回	注意と記憶	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第4回	思考と意思決定	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第5回	学習と言語	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第6回	感情と人格	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第7回	自己と他者	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。
第8回	社会と集団	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。

回数	授業計画	事前・事後学修			
第9回	発達	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の 経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授 業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。			
第10回	発達障害	事前:発達障害に関する経験やこれまでに見 聞きしたことをまとめる。 事後:発達障害に関する経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。			
第11回	脳・神経の働き	事前:授業で扱うテーマに関する自分自身の 経験についてまとめる。 事後:事前学修でまとめた経験について、授 業で学んだ用語を当てはめて捉え直す。			
第12回	精神疾患	事前:精神疾患に関する経験やこれまでに見 聞きしたことをまとめる。 事後:精神疾患に関する経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。			
第13回	心理に関する支援	事前: 心理支援に関する経験やこれまでに見 聞きしたことをまとめる。 事後: 心理支援に関する経験について、授業 で学んだ用語を当てはめて捉え直す。			
第14回	様々な領域における心理学(1):健康・医療、福祉	事前:授業で扱う領域と関わる心理学について自分の考えをまとめる。 事後:自分の経験について、授業で学んだ用 語を当てはめて捉え直す。			
第15回	様々な領域における心理学(2):教育、司法・犯罪、産業・組 織	事前:授業で扱う領域と関わる心理学について自分の考えをまとめる。 事後:自分の経験について、授業で学んだ用 語を当てはめて捉え直す。			
		事前·事後 学修時間 (分/授業1回)			

教科書 [書名/著者 名/出版社]	教科書は使用しない。授業ごとに教員が作成した資料を紙媒体または電子ファイルで配布する。		人間の心の基本的な仕組みと働きを知ることで自分についての理解や他者についての理解を深める
参考書 [書名/著者 名/出版社]	なし	メッセージ	ことができます。みなさん自身の経験と結びつけながら心理学の基礎知識を身に付けましょう。

	評価基準																		
		学修	学修成 果の 中分類 [10の カ]	配	評価方法の配点比率(%))		学修成果の小分類		尺度					
		成果の大分類		点比率(%)	定期試験	臨時試験		内		評	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル 1 (F:59%以下)	
_	尽	態度・	① 学習 意欲																
	心	志向	② 規律性																
		知識・	③ 知識	100			100			組己	間の心の基本的な仕 みと働きを知り、自 理解や他者理解を深 って説明できる。	基礎的知識	レホート 授業前課題 授業内課題(ミニッツ	人間の心の基本的な仕 組みと働きに関する知 識を十分に有してお り、他者に説明でき る。	人間の心の基本的な仕 組みと働きに関する知 識を十分に有してお り、他者にある程度説 明できる。	人間の心の基本的な仕 組みと働きに関する知 識を有しており、他者 に説明できる。	人間の心の基本的な仕組 みと働きに関する知識を ある程度有しており、他 者に説明できる。	組みと働きに関する知	
		技能	④ 技能																
	創	思考・	⑤ 情報 活用 能力																
観点	造	判断	⑥ 課題 解決力																
		表	⑦ 言語 活用 能力																
		現	® コミケー ショカ カ																
	実	行動・	⑨ 主体性																
	践	応用	⑩ 協働性																
		合計		100			100												